室尺

たいと思います。 し方をお伝えし御了承願い 書について、税額の算出の た本年度分固定資産税の令

前年度までは、

県が各市

## 固 產 稅 0

発善 行所

> 印 刷 所 印 刷

う償却資産

具、備品、船舶等を、 償却資産は、機械、

取器

の限りではない。 価格は二ケ年間据置で 構造に変化のない限り

=

4 ダあ 1)

ある。但し、税率はそ

町 役

2.土地、家屋は、面積や

編集責任者 中田憲政

## 算出方法に

笳

柱(長さ、 小屋組(材質、材量、 屋根(葺材質、量、 江 勾配 <面坪 > " 太さ、 本数 屋根 形

坪 " 叩きの種類、床下材 (畳の質、床張の厚さ 面

本数 井

傾斜の程度、破損程度

これを算式で示せば

野街り舞の指示格 3740 円 幸州 9町の野点数 9273点 り評点数 9.273点 水町屏点数合計 268 平万点 水町床面積合計 28万9千舞 =最終評価点数…(A)

(1)

評価基準に練達

職員五名が充分研修を 評価には、建築士三名 じて評価した。 の土地賃貸価格に法の示 とに地目別一定倍数を乗 す基準を用い、各地区ご

に変化が少いため、旧來

することが甚だ広範にわ たることと、家屋のよう

して課税したが、本年度 前に評価したものを補正

家屋は前年度までは合併

次の通りです。

今 土地は、一筆ごとに評価 評価の方法を概説し

備等を評点する

り率を求め、各種の減価を 再建築評点数を求め、これのけ、平面図と対照の上、 して評価格を決定する。 にその建物の損耗(腐朽程

改正法に従って再評価を 衡を一層是正するため、 その際個人別地区別の均 上げねばならないので、 からは県の指示格まで引 したのである。

くなりました。 示格によらなければならな であります。

法の改正によって、県の指然るに本年度からは、税 格ははるか下廻っていたの 担増を避けるため、実施価 合併の関係や税の急激な負 示したのですが、 徴收する基本である土地、 家屋の坪当り平均価格を指

町村に対して固定資産税を 本町では

外内壁(種類別、質、

建具(種類別、価格別の度 / ル) (形式別、材質、程 戸、流し、便所、電気設 附帯設備として浴槽、 右の外、出窓や樋或は、

以上のようにして点数を

其异 被误 环境十 热缩误 十 超值语程点 一 表缩一 医缩一 被多缩 十 用 多缩 医统一 表缩一 医缩一 被多缩 十 用 多缩 教授 《兴·等 数条】 数卷条】 食垢等

II 三坪当 40年 不乱。

▲家屋の評価基準 土台(厚さ、 基礎(高さ、延長、面仕 上、材質により評点し の上これに当った。 て補正する) 広さ、 延長

とを深く感謝致します。

さて、今回発行致しまし

な成績を收めておりますこ 絶大なる御協力により良好

本町の税收入は、皆様の

材質

割合) 造作(柱の評点に対する 材質、仕上 " 員が、 員が、福島の堤防で、大掛月十九日約三百名の水防団 防に万全を期するため、

である。 入善町水防団が行ったもの の後援で、県指導のもとに りな水防演習を行った。 これは、 午前八時全員所定の場所

に集合し、

柚木団長の指揮

準備作業にとりかかる。川 に従い、全員部署に就き、

倉を組立てるもの、蛇籠を 柚木団長の下した想定に基鳴るや、再び全員集合し、 土俵を作るもの、 編むもの、石を集めるもの やがて準備完了の太鼓が 全員一心 | なるのであるから、毎年是| | をて、この種の演習は、訓 普通の大水五万個程度のも | 度で完成の予定だとの話)。

大

註1.このため個人の家屋に にくらべて倍、或は数 かかる税額は、前年度

倍又は、滅額となる人 一さるよう願います。

40銭×A=個人の家屋評価 (一点の単価)

以上のような経過により

杯二銭かで売っていた。当 屋、箱根八里の峠の茶屋な

から、水一升は米一升とい 時米一升二十戋前後だった どで、どちらもコップに一

う値段。

帳簿価格を下らない) する(法人については るものを課税の対象と 存価格が十万円を超え

或は、内容について異議のが、詳細をお聞きしたい方 お願いしたわけであります ある方は、役場へおいで下

的 な 水 防 演 習

K

8に万全を期するため、六 危険な洪水期を控え、水 開始された。 ずき、川倉投入の難作業が

非実施してほしいものだ。

第七条 本金庫の

中部日本新聞社 本一の暴れ川を禦(ぎよ) 微流渦巻く淵に川倉を投入 が斜に堤防にぶち当る、 したのである。さすがに日 水期には最も危険な箇所で するに

即れた

団員

たちは

勇 演習の場所は、丁度本流 洪 政の完成は、数十年後ある

いは数百年後といえどもそ

貧乏国日本の治山治水行

後援の言葉

肝を冷やさせる放れわざを 敢に立廻り、見る者をして る以上、堤防 に、この腕あ 演じての作業 着眼した中部日本新聞社は あります。かかる重大性に の見透しがつかない現狀で

抱かしめた。 は完全に護っ てもらえると いう安心感を ことになったのであります 部地方の皆様に呼びかける 治山治水連盟を結成し、中 昭和二十八年秋、中部日本

ます。 拝見したい念願からであり接し、皆様の御活躍振りを ましたのも、 本日この入善町に私が参り 力を捧げて参りましたが、 爾來幾多の啓蒙運動に微 皆様に親しく

第三条 本金庫は入善町民

事務局内におく

入善町社会福祉協議会

国的に各地出水の恐れが充 前に、中央気象台では、全 今年も本格的な出水期を

四条

本金庫の貸付金は

生活資金、生業資金い

する。一年八月一

とし、貸出は重複しな ずれも一回二千円以内

自動車お目見え

的とする。

して貸付することを目 生活資金、生業資金と にして生活保護者並に

あり、墓の木 危険な箇所が 上に、堤防に って來ている

は、主流が向

(入善地内) 黒部川右岸

ているのであります。 分にあると警戒警報を発し どうか、本日の水防演習

(昨年から堤

中部日本新聞社

のでさえ危険を感じること

れますよう心からお祈り致 れまして、出水期に備えら に予期以上の成果をあげら

山本正晴 第六条 本金庫の貸付 らない。

事業部主任

ヨタ自動車会社から買った

た。 ック型乗用車

第五条 本金庫の貸付金は 二百円を下らない範囲 貸付一ケ月後より月額 いことを原則とする。 内で返還しなければな 本金庫の貸付金は

てあった自家用車

防構築にかかり、大体明年 帯さえある。 | 浦山新の間には、無堤防地

便宜をはかるため、入善町は、生活にお困りの方々の人善町社会福祉協議会で 第二条 本金庫の事務所は 第一条 本金庫は入善町福 を開くこととなった。 規定により八月一日から店 福祉金庫を創設し、左記の ◎入善町福祉金庫規定 祉金庫と称する 福祉金庫が出來た 庫事務所へ提 名捺印の上金 借用証書に署 申出て民生委 うとする者は 貸付を受けよ 員の証明する 議会事務局に 内社会福祉協 入善町厚生課

第八条 借用証書 する。 の提出に対し 出するものと

第九条 本金庫の利用者で 場合は保証人に於て補 塡する。 ことを原則とする ては、即時貸付をする

之に準ずる者に対し、

第十条 本規定は昭和三十 日より実施 ものである。

て帰ったという。

(春日山

戦わずし

六月十四日かねて注文し ーが到着し トラ 各地区との連絡が一層緊密 浪害等の非常時はもちろん を買うべきであるという声 節減の上から是非自家用車 自動車賃を支払っていたこ になることが予想され、大 がスピーデーに運ぶことと 建設事業や産業関係の仕事 しに漸く実現したのである が高かった。それが三年越 までいわれたほどで、町費 金で安い車が一台買えると ととて、自動車屋へ支拂う これによって今後水害、 合併当時年間数十万円の を撃たうときめ、 などって戦をいどんだ時之 態を示し、

る。 二十三年魚津城を囲み、越部川まで出陣し、八月帰国 等と戦い、二十二年七月黒 侵入して神保、椎名、石黒 の後引あげ、十九年五月再 日記) げ、二十一年五月越中深く 二十年四月境まで来て引あ 越中に入り、敗れて帰り、 び信州へ出向、引かえして 出陣、引かえして境で小戦 翌天文十八年には信州へ

裔ではあるまいかと三州志

てよ タ K 5 か

0

水 使 を

4

をほとんど意識しない。 山県に育ったわれわれは、わばッ水の天国《である富 心構えが根本でなかろうか いうも、つまり、こうした 切なことだ。新生活運動と 生活するということは、大 めこんでいて、水の有難さ る所で飲めるもの、と、き 水は空気と同じように、到 すべて物の価値を認めて

用年数で減価を求め残 調査し、これを法定耐 得時期、取得価格別に

だことのある方がありませ

皆さん、水を買って飲ん

んかー

氷水ではなく。

昔、立山や富士山の山小

動の七題目のうち、その根 本精神なるものは 2. 公衆道徳の高揚 人権の尊重

水道料金を払わねばならぬ

東京などのように、高い

とぼしい伊豆の大島など、 都会はむろんのこと、水の

いるようだ。

この二つを基礎観念として 個々の人の価値を認め合

いうわけにはゆかない。 て使う所では、水はロハと 雨水をタンクに貯えておい

中央の新生活運動協会が

世界一水に惠まれた、い一う、これが人権尊重となり、いって、昔の人は平気で飲一実際の必要量の外に二割~

そんざいに使う、少いから 話を元へもどそう 無限に流れる水だから、

よもや自分のくい水に、お し、流れない水だったら、したり平気でするのだ。も 飲用する川水でおしめを洗 そんな考え方でいるから、 は、随分ずるい考え方だ。 むつを洗う馬鹿はいまい。 /三尺さがれば仏の水/と ったり、きたないごみを流 ムダ使いしない。というの

/水の天国/ である宮 混乱を正し、無礼、無作法 という。 不道徳などみにくい点を正 そして、日常生活の面では なるという意味であろう。 発展して公衆道徳の高揚と しくしてゆくのがねらいだ

> せのむ勇士は無いはず。 思想の進んだ今日、清濁併んだかも知れないが、衛生

> > られている。 五割のムダ流しがあると見

東京都の水道使用量は、

(四十三才)までの十七年 - 二十六才)から元亀三年 - 一二十六才)から元亀三年

リニ十六才) れて帰国した。

あり余る水でも、

ムダ使

いは止めよう。

に出來て、水に心配なく、

近頃簡易水道組合が方々

洗濯、風呂等一切まかなう

ルである。これで、煮炊、 一人一日平均二十六リット

らず、万物を尊重し、その私は、人権尊重だけに止 でなるのでなければならな 価値を認める生活態度にま いと思う。 ことだ。 らも、文化生活を一歩進め 得たわけで、よろこばしい 衛生上からも、 きれいな水を使えるので、

便利な点か

る時でも、

節水は絶体であ

った。

ではもちろん、海兵団に居 のである。御参考までに。

かっての海軍では、艦上

□ 様相で毎回の様に松倉(椎 攻入っているが、一貫した 1 攻入っているが、一貫した 2 間は、謙信の第二期と言え

-まっこうくさいから、

水道の水を使うようにな

猿まね文化生活といいたい。

名氏と連契呼応したので、 越中の一向一揆、神保、椎

文化生活の『しつけ』

を

世が無くなったかというと そうではない。カランを開 ったら、川水時代の悪いく

あることを反省してほしい リカンをかける悪徳行為で のだ。正直ものに余計なり メーターで使う水道でも

使い、組合費のかかる水なただの水ではない。電力を むなどの無茶なのがいる。 方、中には、鯉池へ流しこ洗濯物をする等はまだ良い けっぱなして茶碗を洗う、 實即風 (二十三回) 謙信時代

入藝

出陣しているので、 尚弘冶元年(景虎二十六才

ここと

詳記しておきたい。 には入善弥太郎なる者が

この年、景虎は信州より

弥太郎

月、三十二才の年であった間の出来事で、永禄四年九有名な川中島の合戦はこの

く苦闘の時代であった。 景虎 (謙信) にとっては全

信は十六才であった(七才 長尾為景が死んだ時、

と改名、四十一才で剃髪し 政虎と改めたが、翌年輝虎 て主家上杉家を相続、名を 家を相続し、三十二才にし 兄晴景の養子となって長尾 を景虎といい、十九才の時 説もある)。 若年時代の名 ちず、 外二ケ所にかくし、 引返して越中へ軍を出し、 数日間魚津城を圍んだが落 景虎の將宇佐見定行

、に伏兵をかくし、定行単騎は二ケ所づつ二段、四ケ所は二ケ所づつ二段、四ケ所以、今度 城壘の下までかけより、 続いて再度この方法を試み 兵をおびき出し、急撃した をまわして左右の第一段伏 たが、城兵はこりて応ぜず ので相当の死傷者を出した って囲みを解き退却して城 一策を案じ、伏兵を魚津城 いつわ

兵を引あげて退いた。

天文十七年八月(四〇八

兵が起り、一隊は背後をし追いした所を他の一段の伏と全騎一度に打って出、長 追撃、前回の辱をすすごう 城兵は今度こそ一挙に之を

景虎は、

初めの間は柔弱の

後日越中勢があ

夫々居城を固守したので、 互に人質を交わして血盟し に侵入したが、越中の諸將 代の宿遺をはらさんと越中 年前)十九才にして父祖二 て謙信と号した。

げた。弥太郎は小太郎の後 馳せ参じたが、戦すでに終 交わした越中勢、入善弥太 をはなち、定行又取って返や断し、一隊は城に入り火 ったあとで、やむなく引あ 捕りよとなり、惨敗した。 郎、神保、石黒等教援の為 したので、城主板谷政広は して魚津兵の腹背より挾撃 それとも知らず、盟約を

中国士の総反撃にあい、

敗

耕地交換分合見取図

高(發在不作)

っていない点から考えて、

松松金

終戦後農地の交換分合が

ET

はいえ、

全農地を眺め渡し まだくと云う感

たとき

一で行っているのであるが、

×印はブルトーザーで 整地したところ

以後は法の効力を失う。) 昭和三十六年三月三十一日 よる事業のこと。この法は

ぞれ相当の実績を収めたと 奬励され、各地区ともそれ を契機として、

## 機 械 化 K

## 田ゝぼを大きくしよう そ な 之

るのであるから、このよい って耕地整理の根幹が出来 って村地整理の根幹が出来 っており、あと数年のうちに計画

が甚だしくちがう点である

ありがたくない日本一

一州のものがある。それは

入善町の耕地には〃日本

一枚の広さ千七八五

枚一枚の田の土質や狀態

うのが驚くなかれ七枚も続いている。 おそらく県下で

このように河川の改修や

機会に沿線の地域から順次

だがー。

この由圃は、今から四十

このような状況のところ

である。

整理をなすよう努力すべき に耕地の交換分合をなし、

するには、相当の努力と犠 で耕地の整埋や交換分合を

が、農業を楽しく営むには牲とを要することではある

なったのである。 ならって拓かれ、 であるが、その後もこれに 代与次エ門さんが拓いたの 年ほどむかし藤田家の先々

七枚にも

竣工した板屋公民館と記念樹を

植える高辻知事夫人

して行う。

6. 映画は学校で認めたも

指導する。

児童クラブや母の会な

こそそれが進步する。

良いことは見ならわれて

整地にブルトーザーの出動する時代となった 用排水路・道路の改修は交換分合のチャンス

來たことは、農作業の機械 道の改修新設が着々進んで とおしがつかなかったこと 用排水路・道路の改

單作地帯振興臨時措置法に 大部分需寒事業(積雪寒冷 本町の用排水路の改修は 修状況はどうか

拡大の好機会を提供してい

化時代優備えて農地の整形

以上各川の改修計画の事業 平曽川 鉄道附近のみ完 布合川(青木飯野の境の 宵木用水 囲川用水 未計画) (県営) 上半完成

ついては、あまり話題に上 いと思われる。新設道路に 來すようなことはおこらな ように地形の大きな変動を 巾をひろめる程度で、 ろうが、これはどの路線も 今後も次々進められるであ べきものである。 三十五年度までに完成さる のうち積寒事業の分は昭和 また道路の改修工事は、 川の 横椚新小摺 飯青上入

**E** 

改修が行われることは明ら つなぐ路線の新設に等しい の完成後に小川黒部川間を 成されるもののようで、 黒部川大橋が明年度中に完 ただ国道八号線の改修は、 当分新設は無いであろう。 (黒部大橋の鉄橋は、 現在 ۲ 合横椚新 なる。この調子では、 とく普及するであろう。 計

のところ二径間だけ出來て 田んぼを廣くする 必要にせまられて

いる。

い。これにともなって交換 それには、田んぼを広く、 必要に迫られている時はな 今ほど耕地の整形、整理の 形をよくせねばならない。 土機の能率をあげるにある 農耕費を下げるには、耕

(第16号)

金联

Z

小(所有)

藤介作

納胃堂

かである。

にはブルトーザーで大々的分合が行われつつある。中 改修と、幹線道路並びに農 地区に模式的な耕地の交換 地均し、整地をした人も 横山用水の改修されたの | が深い。 農家待望の温照水路への (杉田久太郎氏) 今春来小杉 りに地形が変るか、その見 修が行われたとき、どのよ 修が行われたとき、どのよが、將來道路や用水路の改 も大きな原因であったよう んだ理由はいろくあろう もっともこれを阻 ある。 その進歩状況は次の通りで

横山用水(新屋及び小杉

農業收益の増加を図るに

なかろうか。

大羽塚の大田園を

度は見ておいて

日本で最初に耕地整理を行それより少し前すぐ近くに

を示されている。尚また、 年前すでに耕地整理の前例

· 在公民 智

一時の苦勞はしのぶべきで

機械化の狀況

全長二六〇〇米のうち 地内の大部分終る)

ことは論をまたない。 の振興によらねばならない は、有畜農業や蔬菜栽培等

有畜農業、蔬菜栽培等は

〇三〇米完成

椚山用水

入善用水 上原用水 のみを残して全部完了 0%完了 円筒分水施設 新屋地内の八

分の労働力を持たねばこう

した営農は不可能である。 従来の農業労働力の外に余

六割進行 中間部だけ完 等の盛んなこの町の営農状 態から推理を進めると、当 有畜農業、葉たばこ栽培

化農業の進んだ地方となっ ってくる。こんなわけで本 たのである。 町は県下における最も機械 力をはぶくことが必要とな 然農業を機械化して耕土労

機付耕土機の普及の状況を いまその一例として発動

示そう。 野木原善区 自動耕土機導入状況 를 듯 긆

自動耕土機でやれることに 地区、椚山地区などは、あ と数台導入したら全地区を 右の数字で見ると、 三八九九八 ー と、 一 八 八 十 十 木 00 語っている。 しをしたとのこと。 これについて、普及事務

ス)によるもので、今のと 微鏡でも捉えにくい極めて れていない。 ころその治療方法が発見さ 小さい細菌(一種のワイラ 「黄化萎縮という病は、顋

分合は当然起る問題である」みのらないのである。 目立って広く、分けつしな 出來、草丈は短く、葉巾が 出來、草丈は短く、葉巾が 穂が出ても奇形で、 大低の場合出穂しないが、 いのが特徴である。そして この病にかかると、稲の 絶対に

訂

ません。少年の不良化のほ

なことです。 導することが、 防

生れながらの不良はおり

周囲の事情によって大きく とんどがその生活環境――

毎年夏休みになると、少 1. 悪い友達の影響が大き

よう。

に次のことに気をつけまし

少年の不良化を防ぐため

誤りにつき訂正致しま 五段目四行にある百分 民税について《の文中六月号二頁》町、縣

一つのあらわれです。

2. 悪い本等を無批判に読

いから友達を選ぶこと。

ませないようにする。

少年、特に学童にとって

3.

盆踊りなどの場合でも

時までとし、男うち年度間無病の家庭を表

ある。そして、現在小杉地 ったので有名な舟川部落が

とても大きい田圃がある。 新屋地区島の大羽塚に、 ね 0 黄化 菶 縮

發力

生

二十日現在)発生した。 反、上原地区に四反(六月 拡まり、新屋地区に一町二 黄化萎縮病が、今年は相当 横山地区に姿を現した稲の 昨年初めて新屋地区及び は毎年発生する厄介な、そ | 黄化萎縮の発生した水系に に附着して冬を越すので、 科植物 して稲作に最も危険な病気 この病菌は、水生の禾本 ーまこもなど

黄化萎縮を発見するや直ち に六月初め三反歩程植え直 新屋地区のNさん方では の時の深水によって誘発さ れるらしい。又、本田では である。 誘因は、折衷温床の紙をと 上続いたら発生する。 薬先までの冠水が四日間以 ったあとの深水や、苗取り この病気をおこす直接の

るらしい。

第一回第一

一回の駆除の結

夏

休

み

中

0

不

良

化

止

11

である湧水地帯が一番適す

である。」 えること以外に手がないの 次の年は必ず しくすること 2水系を替 黄化萎縮が発生したら、 1 苗代を新

正 有意義にすごさせるよう指は、夏休み中を最も正しく 年犯罪が多くなるのもその 左右されるのです。

合をなし、整地にブルトー区に参考図のような交換分 ザーを使った好例もある。

ブ

3

退

治

h

屻

る

て、岡山県のように、機械にきまっている。そしる。にきまっている。そし が必ず来るであろう。 化農業入善《の実現する日 治をはじめた。 プヨは、清水の流れる湧

東狐各部落でップヨッの退 飯野地区の笹原、板屋、 笹 原 方面 さんの幼虫が死んで流れて 果を見ると、驚くほどたく は

ーストによるプヨの幼虫駆 官や黒部保健所の関口課長 日と二回県衛生課の山崎技 等の指導によって、殺虫ペ り、五月三十一日、六月六 ので、笹島県議の提唱によ 水地帯に最もよく繁殖する 匹で三〇〇個 時が一番よいのである。 ている。 きるそうである。 れば、プョは完全に撲滅で 最も効果のあるのは、卵かとに駆除をするのであるが この駆除は、二十日目ご こうして九月まで継続す

ってさなぎとなり、後成虫成長を遂げ、まゆ?をつく するそうである。 同地帯のブヨの撲滅を実施 立山に観光客を呼ぶため、 余談ではあるが、県では

十日で幼虫となり、水中で

くらい卵を産むが、卵は二

除を行った。

ブヨは、一

農耕が楽しく出来るように この駆除を実施して、 なるものを、入善全地区に も早くブヨのいない町にし 立山にさえブヨが居なく 日

ろは、清水の流れるところ である。その棲息するとこ ろは、清水の流れるところ

健康優良家庭の表影 (表彰された人々)

極めて大切

收納額二千円以上の家庭の 階上で健康優良家庭の表彰 る家族五人以上、保険税の を行った。 配の十名に対し人善町役場町国保では五月十八日左 これは、三十年度におけ

海と魚 魚の生活 昆虫の生活 かぜとからだ 水と人間 金属の話 日本人の祖先 電燈の話 私たちの太陽 のサルー 伊谷純一郎 内田清之助 石井象二郎 中谷字吉郎 長谷部言人 飯高 稲垣長典 宇田道隆 末広恭雄 関口鯉吉

日本動物語2. 少年少女のためのフラ 少年少女フアブル昆虫記 ンスの話 女性むかしむかし 年中行事むかしむかし 科学むかしむかし 新聞むかしむかし 戦争むかしむかし

さくらだ。くらど

月末を以って落成した。 いた板屋部落の公民舘が五 今春来新築工事を進めて 板屋公民館新築成る

くるので、部落民がたまげ

構造は、間口三間奥行六

・シユーベルト・ジンギ部・夏目漱石・二宮尊徳 スカン・嘉納治五郎

郎・レオナルドリダリヴ

インチ・葛飾北齊・紫式

幸に、知事夫人等に記念樹 知事夫人等が来られたのを 野季節保育所の慰問に高辻 五万円である。 間の平屋で、総工費は四十 (ひばの木) を植えてもら 竣工の翌日六月一日上飯

> 史文庫) 世界史

全七冊(中学生歴

た。

わが国土 世界史の人びと 全八巻 全六冊

村と町むかしむかし

天皇むかしむかし

世界の国国 全十四冊 福村書店

筑摩書房

Ŧij 內

会などを行なって、正しエーション、読書、幻灯 どで、スポーツ、レクリ の以外は見させないよう

い健全な方向に指導する

入善醫察署

少年少女新伝記文庫 フランクリン・牧野富太 イエスキリスト・原敬・ ジソン・ベートーペン・ 野口英世・豊臣秀吉・エ リンカーン・福沢諭吉・ 名 著者名

入舊圖書館

郎(新) 中易庄右エ門(新)浦滝松次

行わず、必ず学校を利用は、個人宅や料亭などで ことによって生徒たちの 一齊にサイレンを鳴らす 同級会などの催しもの 午後九時を期して町内 清次郎/們/長三郎/新/ 松田清森(上)草島正行(上) 此川泉衛(青)松島由松(小) 小林秋枝(青)松島由松(小) 谷キク(横)真岩与作(横)石田 谷中夕(横)真岩与作(横)石田 被表彰者氏名

帰宅時間を知らせる。

生徒はつとめて父兄と同 子生徒は制服制帽、女子

4.

伴する。

舟川三次(入)田中勝造(入)

氏名は次の通り。 被表彰者の